

シリーズ 原発・いのち・みらい その12

低線量被ばくは 大丈夫って、本当？

原発の危険から子どもを守る北陸医師の会

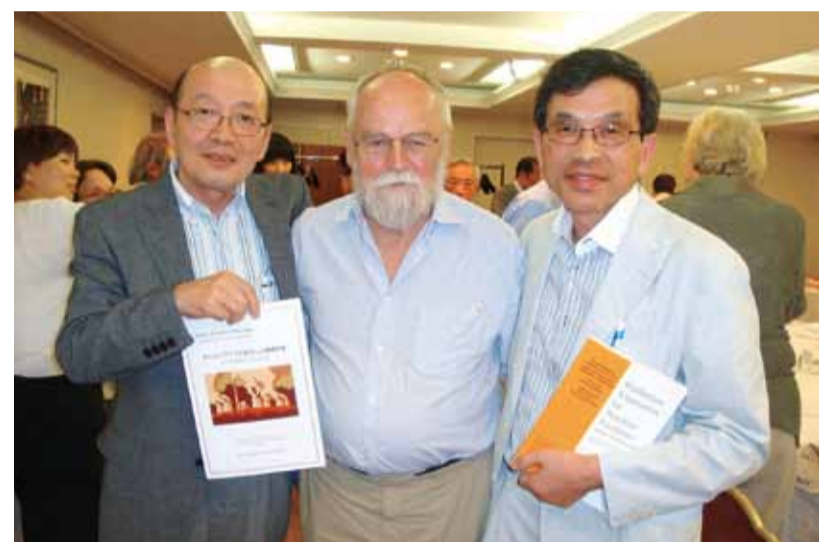
世話人 吉田 均 (能美市・小児科)

「百ミリシーベルト以下で、がんなどが増加する」という明確な証拠は得られていない。複数の学会のホームページに書かれている。安心してよいのだろうか？

「百ミリシーベルト以下で、がんなどが増加する」という明確な証拠は得られていない。複数の学会のホームページに書かれている。安心してよいのだろうか？

六月二十八日、京都で低線量被ばくに関する国際会議(チェルノブイリーフクシマドイッの経験から学ぶ)が開催され、仲間の大浜和憲さんと二人で参加した。「学会」か「ネイチャー」か、いずれが正しいかを学ぶために...

「百ミリシーベルト以下で、がんなどが増加する」という明確な証拠は得られていない。複数の学会のホームページに書かれている。安心してよいのだろうか？



左から大浜和憲 (小児外科医)、セバスチャン・プフルークバイル (物理学者)、吉田均 (小児科医) 各先生

倍、十キロでは一・三三倍と高く、いずれも統計学的に信頼できる結果であった。

「ネイチャー」に軍配! では、なぜ正常運転で白血病が発生するのだろうか? 燃料交換時などに定期的に放出される核物質で障害が起きるのだろうか? 答えはまだ見つからない。

「ネイチャー」に軍配! では、なぜ正常運転で白血病が発生するのだろうか? 燃料交換時などに定期的に放出される核物質で障害が起きるのだろうか? 答えはまだ見つからない。

イメージ 福島 vol.6 IN 石川

北陸と福島県相馬のつながり、「福島の今」について共に語り、考える。 日時: 2012年8月18日(土) 開場13:00/開演13:30 会場: 西田幾多郎記念哲学館

第27回保団連医療研究集会 メインテーマ 絆—いのちを見つめて 日時: 2012年10月13日(土) 18:00~21:30 10月14日(日) 9:00~15:30 会場: 東京・都市センターホテル

私たちがここに集まっています。 私たちは、この自然の美しさに心を奪われていま。 私たちは君たちや君たちの子どもたちが健やかに成長することを願っています。 私たちの力は小さいかも